



神戸ビエンナーレ2011 沖縄県本土復帰40周年記念イベント

神戸ビエンナーレ 沖縄の日

— 遠い声 遙かな潮風 —

■日時 2011年10月10日(月・祝)
13:30開演(13:00開場)
■会場 神戸文化ホール 大ホール TEL078-351-3535
■入場料 前売 3,000円 当日 3,500円 1階席
2,000円 2,500円 2階席
*全席自由

撮影/大塚勝久

沖縄にはいまでも
大航海時代の空気がただよっています。
はるか昔。
ひとびとは中国・明からベトナムから
そして大和まで 琉球を通じて交流してきた——
——知られざる歴史があります。
いま、
想いも新に
南国の明るい日差しの中で生まれた
さまざまな芸能舞台と
——ベトナムからのお客さま
その王宮音楽を
ここミナト神戸でお愉しみてください。

出演

関西琉球舞踊研究所
関西琉球古典音楽研究会
ミヤギマモル(シンガーソングライター)

龍 明(中国武術家)

琉球古典太鼓護鼓の会(在沖縄)
創作芸団レキオス(在沖縄)
城間健市(ボーカリスト 在沖縄)

(ゲスト)

ニャーニャック(フエの王宮音楽・ベトナムより来演)

チケット販売所

神戸文化ホールプレイガイド ☎078-351-3349
神戸国際会館プレイガイド ☎078-230-3300
松方ホールチケットカウンター ☎078-362-7191
兵庫県芸術文化協会 ☎078-321-2001
尼崎総合文化センタープレイガイド ☎06-6487-0810
三宮わしたショップ ☎078-331-2004
琉球料理にしむら家 ☎0798-34-5666

●お問い合わせ 関西琉球舞踊研究所事務局 ☎06-6433-5789

主催/神戸市 神戸ビエンナーレ組織委員会 神戸ビエンナーレ沖縄の日公演実行委員会 関西琉球舞踊研究所
JAVIPCLUB(ジャパン・ベトナムパートナーシップ)

共催/兵庫県 阪神沖縄文化研究会 兵庫・沖縄友愛県民の会 神戸泡盛の会 謝敬愛まちづくり財団

後援/神戸市教育委員会 沖縄県大阪事務所 謝沖縄観光コンベンションビューロー (公財)兵庫県芸術文化協会 尼崎芸術文化協会

神戸新聞社 サンテレビジョン ラジオ関西 朝日新聞神戸総局 読売新聞神戸総局 毎日新聞神戸支局 産経新聞神戸総局

神戸ユネスコ協会 神戸CSの会

協賛/あましん地域振興財団 学校法人園田学園

神カビエンターレ 神縄の日

遠い声 遙かな潮風

木割 大雄

関西琉球舞踊研究所は、2007年6月に招かれてベトナムへ公演旅行に出かけました。

その年、ベトナムの古都・フエにおいて《芸能国際フェスティバル》が開催されたのです。関琉研とベトナムとの奇縁・交流は、こうしてゆっくりとすすみ始めました。

思えば30年以上に渉る公演活動。その間に様々な人々との交流の中で、琉球・沖縄の歴史、芸能を学んできました。沖縄は、琉球と呼ばれた時代から、諸国と交易してきました。中国・明だけではなく東南アジアの国々とも。

ベトナムからのお誘いを受けた頃から関琉研は、琉球音階とベトナム音階に共通するものを感じて、ほんの少しですが、大航海時代の人々の動きや、伝説的なことに耳を傾けるようになりました。そして今まで知らなかった文化・海洋史に興味を覚えるようになったのです。

たとえば百人一首で有名な

天の原ふりさけ見れば春日なる

三笠の山に出でし月かも

という阿倍仲麻呂の歌が、遣唐使として渡った唐の国から帰路につくときの歌。かの国の友人たちと別れの宴を開き、望郷の念を込めて作られたということ。そして帰国への海路で潮と風に流されて安南、即ち今のベトナムに漂着したこと。

また、東大寺・大仏開眼の頃、安南人僧侶・仏哲が渡来し林邑楽——今の雅楽の内の唐楽といわれるものの一種——を伝えたということ。東洋音楽史の側面が少し見えたように思いました。

少し下って江戸時代。なんと、ベトナム産のアジア象が時の將軍家に献上されたという話まで耳にしました。象は享保14年3月16日長崎の港を江戸に向けて出発。その道中は大評判となり瓦版に掲載されたといひます。

今や牽く不二の籠の蝸牛

この句は当時の俳諧師にして茶人の堀内仙鶴という人が残した一句。象という大きな生き物がやってきたと聞くが、今曳かれていく姿を見れば富士山の麓に居るカタツムリのようなものだ——という洒落た一句であります。作者の仙鶴という人はその世界では知られた人で、伊丹市にある俳諧文学館・柿衛文庫にはその直筆の軸や短冊が保存されています。

ベトナムとわが国との交流にはまだまだ知らないことが沢山あると思いますが、いま、不思議な形で私たちの前に

姿を見せ始めたような気がいたします。

関西琉球舞踊研究所ベトナム公演——それが発展して遂に、王宮音楽を招聘するという夢のような舞台が、神戸で実現できるようになりました。関琉研はこれをご縁を大切に、これからも色々と学んでいきたいと思っています。

蛇足を少々。

筆者もベトナム公演に随行いたしました。そこで得た俳句を、奇縁の一端として紹介します。

向き合えるドラゴン船は奇祭めき

ひとり舞えば汗の群衆鎮めけり

夏の月発止と受けし「諸屯」の手

青き島抱いてメコンの大河口

土砂押して行くやメコンの夫婦船 大雄

(俳人・阪神神縄文化研究会)

プログラム

開演 13:30

ハイユエー節	創作芸団レキオス
国頭サバクイ	城間健市&創作芸団レキオス
かぎやで風	関西琉球舞踊研究所
琉球古典音楽演奏	関西琉球古典音楽研究会
早口説 安波節 辺野喜節	
ニャーニャック	フエ王宮音楽
カナヨ一天川	関西琉球舞踊研究所
しゅんどう	関西琉球舞踊研究所
四つ竹	関西琉球舞踊研究所
御知行	創作芸団レキオス
鳥刺舞	創作芸団レキオス
総掛	関西琉球舞踊研究所
獅子舞	創作芸団レキオス
天と海の境	城間健市&関西琉球舞踊研究所
大漁〜谷茶前	関西琉球舞踊研究所
八重山民謡	ミヤギマモル
鳩間節	関西琉球舞踊研究所
まみどーま	関西琉球舞踊研究所
三板の響き	琉球古典太鼓護鼓の会
稲しり節	関西琉球舞踊研究所
ヘビーエイサー	城間健市&創作芸団レキオス&龍明
フィナーレ	

終演時間 16:30 (予定)

お願い

*客席へのご入場は13:00を予定しております。

*公演中のビデオ・写真撮影は固くお断りします。

●お問い合わせ・チケットのご注文はこちらからもどうぞ。



関西琉球舞踊研究所 okinawanokaze2011@gmail.com

2011年10月10日(月・祝)

神戸文化ホール 大ホール